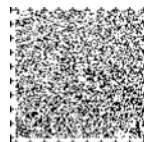


社会福祉法人 創文会  
相談支援事業所 ハートピア出雲 情報誌「トピア」



# Topia

第65号



〒 693-0014  
出雲市武志町 693-6  
Tel : 0853-2 3-2 7 2 0  
Fax : 0853-2 3-2 7 2 1  
E-mail : shien@heartpia.or.jp  
ホームページ  
http://www.heartpia.or.jp

<発行所>  
相談支援事業所  
ハートピア出雲

## 出雲市地域生活支援拠点「ささえ愛サポート」居室確保事業について

障がいのある方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、地域全体で支えていく仕組みとして、令和3年4月より出雲市地域生活支援拠点「ささえ愛サポート」が稼働して2年が経ちました。

地域生活支援拠点の機能には、①相談、②緊急時の受け入れ・対応、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくりの大きく5つの機能があり、出雲市では「緊急時の受け入れ・対応」「体験の機会・場」の整備を優先的に取り組んできました。

「緊急時の受け入れ・対応」「体験の機会・場」の整備の取り組みのひとつとして、出雲市地域生活支援拠点居室確保事業にてアパートの1室を確保し、緊急時の受け入れや一人暮らしの体験、地域移行の支援などに活用しています。

出雲市からアパート管理業務の委託を受け、ハートピア出雲にてアパート管理や利用の調整を行っています。

アパートには生活に必要な家電や備品は取り揃えており、すぐに生活ができるような状況になっています。着替えや洗面用具など個人で使用する物は持参し、食事は利用される方にて準備していただく必要があります。アパートの1室を素泊まりで利用するようなイメージになります。

アパートの利用時に必要な支援は、担当の相談支援専門員が行うこととし、必要に応じて電話等による支援、アパー



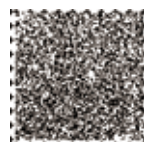
トに訪問、滞在して支援を行う流れになります。

利用にあたっては、事前の登録と利用届の提出が必要です。利用をお考えの方は、出雲市役所の福祉推進課又は担当の相談支援専門員にご相談いただけたらと思います。

(文：コーディネーター事業所 相談支援事業所ハートピア出雲 相談支援専門員 布野 寛明)

●ダイニングキッチン、和室2部屋、洋室1部屋の3DKの間取りのアパートで、支援者が一緒に滞在することもできるような間取りになっています。

<b>もくじ</b>	●居室確保事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 p
	●言語聴覚士からのミニクイズ&献金のお礼・・・・・・・・	2 p～3 p
	●障がい者手帳がアプリで&新人紹介・・・・・・・・・・	4 p



## 言語聴覚士からの「フムフム、なるほど！」～第6回～



言語聴覚士の安立です。ことば・コミュニケーションについての疑問を解き明かすプログラムの第6回をお送りします。前回は、文字の読み書きの発達に必要な2種類の分解方法の違いと、獲得していく順番をみてきました。今回は文字についての続きです。

日本語の文字には、仮名文字と漢字とローマ字があります。

仮名文字は音を表す文字で、平仮名と片仮名があります。漢字は漢の時代中国から伝わってきた文字ですが、漢字のなかには日本で作られたものもあり「国字」という和製漢字もあります。国字は漢字では意味をうまく表わせなかったので、漢字を組み合わせで作ったものといわれています。

Question 1 : 「田」は、国字である。

Question 2 : 平仮名には、同じ読み方に2つの文字がある。

Question 3 : 伸ばす音の書き方は、片仮名も平仮名も同じである。

Q1 = ×

「田」は漢字です。日本で作られた国字の例は「畑」です。

中国には「畑」という漢字はありません。中国では水田もキャベツ畑も「田」で表します。



田 (漢字)



田 (漢字)・畑 (国字)

Q2 = ○

「お」と読む平仮名には「お」と「を」の2種類があります。

「を」は助詞に使います。

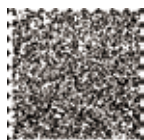
また、同じ文字に2つの読み方をするものもあります。

「は」と書いて「は」や「わ」と読みますね。「へ」も同じですね。

このように、時と場合によって読み方を変えたり、文字を変えたりします。

Q3 = ×

片仮名は「一」と書いて伸ばします。 例) ケーキ



3ページにつづく

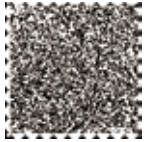
平仮名には、後ろに続く母音によって書き方が変わる規則があります。

(1) ア・イ・ウ列は各々の母音に対応した文字で表します。

例) おかあさん：「か」は「ア列」なので「おかあさん」

おにいさん：「に」は「イ列」なので「おにいさん」

ふうしゃ：「ふ」は「ウ列」なので「ふうしゃ」



(2) エ・オ列は各々 2 通りあります。

エ列の例)：おねえさん (和語は母音に対応した「え」)

せんせい (漢語は「い」)

オ列の例)：こおり (歴史的仮名遣い「ほ」のものは「お」)

おとうさん (それ以外は「う」)



いかがでしたか？

日本語には漢字や仮名文字などの種類があって、使い分けるためのいろいろな規則があります。文字と発音と一致しないこともあり、文字を覚え始めた頃は、区別することがとても難しいです。特に引き伸ばす(長音)場合、つまる(促音)場合、助詞の場合は、間違えることが多いですね。

例)「おかさんと がこ え きました」(お母さんと学校へ行きました)

このような間違いを繰り返しながら、徐々に規則を学んでいきます。

(文：ハートピア出雲ステップ児童指導員 安立 多恵子)

## 「(公財) 日母おぎゃー献金基金」より歩行器と座位保持装置の献金を受けました。

「日母おぎゃー献金基金」とは、鹿児島県伊佐市で産婦人科を開業していた遠矢善栄医師が発案された献金と伺っております。遠矢医師は、近くに住む重症心身障がい児の三姉妹と出会い、救済したいと手を尽くされました。しかし、昭和 38 年当時は一部の軽症者を除き重症心身障がい児の収容の道はなく日本産婦人科医会に募金活動を提案されたのが始まりとされています。

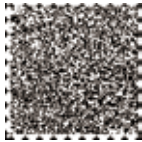
令和 4 年度、日本産婦人科医会中国ブロックでは島根県内で重症心身障がい児が利用している福祉施設が対象となり、児童発達支援センターハートピア出雲スマイル(以下スマイル)もエントリーしたところ、歩行器 1 基と座位保持装置 2 基分の献金を受けることが出来ました。令和 5 年 4 月 26 日

松江市にある島根県産婦人科医会で目録の贈呈式がありました。

重症心身障がいの子はとかく横になって過ごすことが多くなりますが、座り心地の良い器具でお友達と視線を合わせて遊んだり、絵本を見たりして楽しい時間を作りたいと考えています。また、手作りの道具や人海戦術で歩く練習をしていましたが、この歩行器を使った活動を取り入れ「心も体も一歩前に踏み出せる支援」を引き続き行ってきたいと思います。

この紙面を借り、島根県産婦人科医会の皆様、献金を頂いた全ての皆様に感謝を申し上げ報告とさせていただきます。(文：ハートピア出雲スマイル看護師 景山 良加)





## 障がい者手帳代わりになる **アプリ** 登場！

ある日、ネットで調べ物をしていたら「ミライロID」なる聞きなれないアプリ情報に偶然たどり着き、よくよくチェックしてみたら障がい者手帳代わりになるスマートフォンアプリだそうです。このアプリを事前にアプリストアでスマホにダウンロードしておき、対応施設などで提示すると料金の割引が受けれるものです。例えば博物館や美術館、映画館や携帯電話のショップ、あるいは空港や鉄道など。島根県内でも対応されている場所が徐々に広がっているようです。



その他、このアプリでお得に使える電子クーポンを提供したり施設のバリアフリー情報を掲載したりするとのこと。手帳をお持ちの方はアプリのダウンロードをご検討されてみてはいかがでしょうか。

興味のある方は「ミライロID」で検索の上、ウェブサイトをご確認くださいませ。

(文：ワークセンターフロンティア利用者 米山 修二)

### ◆苦情の解決対応について◆

令和4年の間に苦情件数は0件でした。

今後も引き続き、意見箱の設置や利用者会議の開催、保護者アンケートの実施等を通じて、寄せられたご意見ご要望を大切にサービス向上に努めてまいります。(施設長：山本 順久)

### 【工賃実績のお知らせ】

島根県	平均工賃月額 (円)		
	事業所数	R2	R3
就労継続支援A型(雇用型)	33	95,329	95,329
就労継続B型(非雇用型) (工賃向上計画対象事業所)	132	19,201	19,749

○障がい者就労支援事業所 ワークセンターフロンティアの令和4年度就労継続支援B型事業における平均工賃は、**月額 21,577円** になりました。(令和5年度目標工賃は26,500円です)

(ワークセンターフロンティア サービス管理責任者 柳楽武臣)

## よろしくお祈いします！ ~新人職員の紹介~

6月からハートピア出雲スマイルの看護師として働いております有田沙和です。

子ども達が安全に安心して過ごすことができるようサポートしたいと思っております。

よろしくお祈いいたします。



### 編集 後記

◆なんと来年で発売65周年を迎える世界的に有名なバービー人形。ファッション性だけではなく多様性(性別、人種、職業、体型)を表現することを大切にしているそうで、近年は義肢や補聴器を付けた人形、あと車いすユーザーの人形があるそうです(人形用の車いすとスロープが付属)。そして今年はダウン症の特徴を模したバービー人形が登場。多様な人がいる社会を人形遊びを通して子どもたちが学んでくれるといいですね。ちなみにバービーとリカちゃん人形は別物だけど素人には見分けつかないっす。【編集長 米山】

